

(医学概論)

医学概論 I

オーガナイザー

教育研究開発センター	教授	村田 顕也
地域医療支援センター	教授	上野 雅巳
教育研究開発センター	講師	佐々木 洋子

I 一般学習目標

医学概論 I では、疾患の発症を患者が居住する地域や生活や文化と関連させて考察できる医師の育成を目標とする。本学では、1年の夏休みに県下の病院にて早期医療体験実習（Early exposure : EE）を行っている。EE では、医師などの医療関係者のみならず、患者さんから直接医療の現状を学ぶことが多い。そのため、本講義で和歌山県の各医療圏の現状と課題について事前学習する。また地域住民を観察し、患者の文化や行動様式を記録するエスノグラフィーの手法を学習する。EE では、単に現場の医療を体験するだけでなく、これらの知識と手法をもとに患者を社会的観点からとらえる視点を修得させる。さらに、和歌山医大の役割と使命を再確認し、地域社会および国際社会で活躍するための医師の人材育成を目指す。

II 個別学習目標

1. 和歌山の歴史・文化（偉人）が概説できる。
2. 和歌山県の特徴（他の都道府県と比較して）が概説できる。
3. 和歌山県の風土・産業と疾患との関連について概説できる。
4. 和歌山県の各医療圏の現状と課題が概説できる。
5. 和歌山県の医療の現場を知る。
6. エスノグラフィー（行動観察）手法について理解し実践できる。
7. 参与観察の手法を学び実践できる。
8. 本県の災害医療と救急医療について概説することができる。
9. 和歌山県立医科大学の歴史・伝統について概説できる。
10. 和歌山県立医科大学の現状と課題について概説できる。
11. 和歌山県立医科大学の研究について概説できる。

III 教育内容

上記の内容を本学教員および外部講師によるオムニバス形式で行う。

IV 学習および教育方法

講義を中心とし、事例検討やグループワーク演習も取り入れる。

V 評価の方法

各講義のレポート（30%）と授業への出席および授業態度（30%）、グループワークの発表内容（40%）により評価する。

講義日程表 ※日程・内容等変更になることがあります。

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担 当
1	R4.6.10	(金)	1	和歌山医大を知る 1 (和医大生としての誇りと責務) オリエンテーション (医学概論と早期医療体験学習)		宮下 学長 村田 顕也
2	R4.6.10	(金)	2	和歌山を知る 1 (外から見る和歌山県)	和歌山県 総務部長	田村 一郎
3	R4.6.17	(金)	2	和歌山を知る 2 (救急医療・災害医療)	救急・集中治療 医学講座	加藤 正哉
4	R4.6.24	(金)	1	和歌山医大を知る 2		公募
5	R4.6.24	(金)	2	和歌山医大を知る 3		公募
6	R4.7.1	(金)	1	和歌山を知る 3 (和歌山県の医療)	地域医療支援 センター	上野 雅巳
7	R4.7.1	(金)	2	和歌山を知る 4 (和歌山県の医療の現場)	国保すさみ病院	高垣 有作
8	R4.7.8	(金)	1	※EE実習用 空きコマ		
9	R4.7.8	(金)	2	エスノグラフィー EEでの情報(患者・疾患)収集方法	教育研究開発センター	佐々木 洋子
10	R4.8.26	(金)	1	※EE実習用 空きコマ		
11	R4.8.26	(金)	2			
12	R4.9.2	(金)	1			
13	R4.9.2	(金)	2			